

(学年) 専攻科1年、(教科・科目) 看護・小児健康生活支援論Ⅱ

協働学習

(単元) 呼吸器症状を示す子どもの看護

(本時のねらい)

1. 気管支喘息の子どもの状態をイメージし、必要な看護を考えることができる。
2. 児やその家族に対してどのように接するのか、具体的に表現できる。

(ICT活用方法)

事例の子どもの1場面を設定し、ロールプレイを実施する。その際にタブレット等で動画を撮影し、撮影した動画を授業支援クラウドアプリに添付して、後で見返すことができるようにする。その他のグループは良かった点や改善点などを授業支援クラウドアプリに記載する。

ロールプレイ実施時には、生徒のしている視点とは別視覚からの映像をプロジェクターで投影し、さまざまな角度からロールプレイを見ることができるようになる。

(本時の展開)

時間	学習活動	指導事項	ICT活用方法
導入 10分	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のスケジュールとねらい、そして今回の事例を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のスケジュールを確認し、ねらい、事例を説明する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スライドを投影し、視覚的にもわかりやすくする。
展開 75分	<ul style="list-style-type: none"> ①グループ1 <ul style="list-style-type: none"> ・考えた看護計画と今回演じる場面を説明する。 ・ロールプレイを実施 ・動画撮影 ・振り返り ②グループ2 <ul style="list-style-type: none"> 同様に実施 ③グループ3 <ul style="list-style-type: none"> 同様に実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・場面をイメージできるように促す。 ・良い点、改善点など気付いたことを班で話し合い授業支援クラウドアプリに書き込むよう促す。 ・班ごとに発表し、共有させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・タブレット等でロールプレイの動画を撮影する。 ・授業支援クラウドアプリのクラス学習モードに、班ごとの気付きなどを書き込む。ロールプレイを実施した班は動画を添付する。 ・ロールプレイ実施時は学生が見ている別角度からの映像をプロジェクターで投影し、さまざまな視点で見て考えられるようにする。
まとめ 5分	<ul style="list-style-type: none"> ・今回の内容を今後どのように活 	<ul style="list-style-type: none"> ・実習などで活用できるように促す。 	

	用するか考える		
--	---------	--	--

(授業の様子)

《導入時のスライド(教員作)》

ロールプレイ	
<p>〈7歳女児〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入院当日：発作出現 # 非効果的呼吸パターン ・入院3日目：兄との関わり # 非効果的健康自主管理 ・退院前日：退院指導 # 非効果的健康自主管理 	<p>〈4歳男児〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入院2日目：吸入の援助 # 非効果的気道浄化 ・入院3日目：遊びの援助 # 身体外傷リスク状態 ・退院前日：退院指導 # 知識不足(母)

《学生とは別角度からの映像を投影》



《授業支援クラウドアプリの画面》



《動画を撮影している様子》



《ロールプレイの様子》



(生徒の反応と課題、改善を要する点)

演じた場面を動画で撮影し見返ることができるようにしたことで、看護場面の振り返りがより有効に実施できたと同時に、自分のコミュニケーションスキルの振り返りにもつながった。また、データとして持ち出せるため、病院実習で同じような子どもを受け持った場合に参考にでき、教科横断的に活用できると感じた。

今回は動画の音声不明瞭な部分があったため、次回はマイクなどを設置した方がよいと考える。振り返りの時間をより多く確保するため、事前に動画を撮影してそれを見ながらの討議も効果的ではないかと思う。